

令和6年度 農作物病虫害発生予察5月月報

令和6年(2024年)6月3日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
5.1	17.6	17.1	0.5	22.5	22.5	0.0	12.4	11.9	0.5
5.2	16.8	17.8	△ 1.0	21.7	23.2	△ 1.5	12.0	12.6	△ 0.6
5.3	18.5	18.3	0.2	23.5	23.6	△ 0.1	13.6	13.2	0.4
5.4	18.8	18.9	△ 0.1	25.6	24.2	1.4	12.6	13.9	△ 1.3
5.5	21.4	19.6	1.8	27.0	24.8	2.2	16.5	14.6	1.9
5.6	19.6	20.2	△ 0.6	24.3	25.3	△ 1.0	15.3	15.5	△ 0.2
平均・計	18.8	18.7	0.1	24.1	23.9	0.2	13.7	13.6	0.1
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
5.1	2.5	28.7	△ 26.2	37.5	33.5	4.0			
5.2	43.0	33.8	9.2	30.8	33.5	△ 2.7			
5.3	70.5	35.6	34.9	38.3	34.0	4.3			
5.4	0.0	30.4	△ 30.4	45.4	34.6	10.8			
5.5	0.0	24.8	△ 24.8	38.8	34.7	4.1			
5.6	87.0	26.4	60.6	28.7	39.7	△ 11.0			
平均・計	203.0	179.7	23.3	219.5	210.0	9.5			

II 作物の生育状況

- (1) コムギ : 穂数は、平年に比べ少なく、成熟期は平年に比べてやや早まる見込みである。
- (2) カンキツ : 開花は産地や品種により差があり、平年並～早い。着花はほとんどの産地や品種で少ないからやや少ない状況である
- (3) ナシ : 着果状況、果実肥大ともは概ね良好である。降霜被害は見られないが、一部産地で霰による幼果への軽微な被害がみられた。

III 病害虫の発生状況

1 普通作物

2024年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
イネ いもち病 (苗いもち) 苗立枯病 もみ枯細菌病 (苗腐敗症) ばか苗病	5月下旬の共同育苗施設(26施設)の聞き取り調査では、下表のとおりであった。 表 共同育苗施設の聞き取り調査結果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病害名</th> <th colspan="2">発生施設率 (%)</th> </tr> <tr> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いもち病</td> <td>0</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>苗立枯病</td> <td>0</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>もみ枯細菌病</td> <td>0</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>ばか苗病</td> <td>3.8</td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table>	病害名	発生施設率 (%)		本年	平年	いもち病	0	1.2	苗立枯病	0	2.2	もみ枯細菌病	0	1.6	ばか苗病	3.8	1.1	—	—	
病害名	発生施設率 (%)																				
	本年	平年																			
いもち病	0	1.2																			
苗立枯病	0	2.2																			
もみ枯細菌病	0	1.6																			
ばか苗病	3.8	1.1																			
セジロウンカ	4月1日～5月28日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は3頭(平年0.2頭)で平年に比べ多かった。 萩市大井の予察灯で5月1日に初確認され、平年に比べ早かった(平年初確認6月4日)。	県内全域	—																		
トビイロウンカ	萩市大井の予察灯で5月1日に1頭確認され、平年に比べ早かった(平年初確認日6月30日)。	県内全域	—																		
ヒメトビウンカ (調査ほ場数:17)	下旬のコムギのすくい取り調査では、20回当たり成幼虫数は30.6頭(平年76.9頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—																		
ニカメイガ	4月1日～5月28日の予察灯(県内3か所)では確認されなかった。	—	—																		
イネミズゾウムシ	4月1日～5月28日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は15頭(平年11.1頭)で平年に比べやや多かった。明確な成虫誘殺ピークは認められなかった。	県内全域	—																		
コムギ (調査ほ場数:17) 赤かび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率52.9%(平年18.8%)、発病穂率2.2%(平年0.4%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.9%(平年34.1%)、発病穂率1.8%(平年1.1%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	868																	
黒節病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.5%(平年5.5%)、発病茎率1.5%(平年0.3%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 少 計	96 289 386																	
うどんこ病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.8%)、発病葉率0%(平年0.4%)で平年並であった。	—	—																		

2024年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
コムギ 黄斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率73.3% (平年34.0%)、発病茎率51.2% (平年26.7%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚	328
			多	219
			中	109
			少	547
			計	1,203
縞萎縮病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年0%)、発病茎率4.7% (平年0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多	137
			少	273
			計	410

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
カンキツ (調査ほ場数:18) かいよう病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率0% (平年2.1%)、発病葉率0% (平年0.1%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。 下関市の調査ほ場の番外で発生が認められた。	下関市	少	1
そうか病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率16.7% (平年3.7%)、発病葉率0.3% (平年0.1%)、発病度0.1 (平年0.0) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	164
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.8% (平年34.4%)、発病花率1.2% (平年1.9%) で平年並みであった。	県内全域	多	55
			少	219
			計	274
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年11.8%)、寄生葉率5.2% (平年2.1%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	329
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2% (平年26.8%)、寄生新梢率1.0% (平年1.3%) で平年並みであった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多	55
			少	164
			計	219
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀ほ場数:9)	初発生は認められていない(平年7月7日)。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.1%)、発病葉率0% (平年0%)、発病新梢率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—	
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年8.0%)、発病葉率0.3% (平年0.2%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	20
赤星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年6.7%)、発病葉率1.0% (平年0.3%) で平年並みであった。	県内全域	中	10

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ナシ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年23.3%)、寄生新梢率0.5% (平年0.9%) で平年並みであった。主要種はワタアブラムシ、ユキヤナギアブラムシであった。	県内全域	中 10 少 10 計 20
ハダニ類	下旬の巡回調査では発生ほ場率0% (平年5.3%)、寄生葉率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
ニセナシサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年6.0%)、被害新梢率0.1% (平年1.7%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 10
チュウゴクナシ キジラミ	下旬の巡回調査では発生ほ場率0% (平年1.3%)、寄生葉率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
ナシヒメシンクイ	4月26日～5月25日のフェロモントラップ(萩市小川、下関市豊北)の誘殺数は5頭(平年22.9頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—
キウイフルーツ (調査ほ場数: 3) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年33.3%)、発病葉率0.1% (平年3.5%) であった。	下関市	少 1
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオ カメムシ、クサギ カメムシ)	4月26日～5月25日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は355頭(平年54.3頭)で平年に比べ多かった。 5月1日～25日のフェロモントラップ(県内4か所)のチャバネアオカメムシの誘殺数は823頭(平年199.1頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	—

3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
タマネギ (調査ほ場数: 17) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率94.1% (平年46.7%)、発病株率53.4% (平年24.5%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 24 多 43 中 12 少 18 計 97
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率5.9% (平年14.6%)、発病株率0.1% (平年0.8%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 6
軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.6%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—

2024年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
タマネギ さび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率5.9%(平年0%)、発病株率0.2%(平年0%)、発病度 0.1(平年0)で平年に比べ多かった。	県内全域	少	6
萎黄病、ボトリチ ス属菌による葉枯 れ症(白斑葉枯 病)	中旬の巡回調査では、発生は認められず平 年並みであった。	—	—	—
ネギアザミウマ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率76.5% (平年43.4%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 少	6 73
			計	79

お問い合わせ先
山口県病害虫防除所
TEL (0835) 28-1211(代)
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp